

施策体系（基本目標・個別目標）の見直しの考え方

A 基本目標1「『ゼロカーボンシティ』実現に向けた地球温暖化対策の推進」

「ゼロカーボンシティ」実現を目出しすることで、地球温暖化対策の更なる推進に向けた区の決意・姿勢を示す必要があります。

また、区の環境都市像を実現するためには、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組が重要であることから、新たに「重点目標」として位置づけます。

B 基本目標1－個別目標①「再生可能エネルギー等の導入推進」

太陽光発電システムやエネファーム等の活用に加え、再生可能エネルギー電力の導入を重点的に推進する必要があります。

C 基本目標1－個別目標②「省エネルギーの徹底・定着の推進」

LED照明への更新や高効率機器の設置など、省エネルギー性能の高い設備・機器の導入促進に加え、建築物のZEB化・ZEH化を推進するなど、省エネルギーを着実に徹底・定着させていく必要があります。

D 基本目標1－個別目標③「気候変動適応の推進」

区では、「地域気候変動適応計画」を「第三次環境基本計画」の改定に合わせて一体化（内包）した計画として策定することとしています。そのため、従来のヒートアイランド対策に係る取組を継承しつつ、気候変動による影響の回避・軽減の取組（適応策）を新たに盛り込む必要があります。

E 基本目標5「環境学習・環境教育の推進」

「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、環境活動への参加促進や環境保全意識の啓発を図るため、今まで以上に環境学習・環境教育を推進する必要があります。

F 基本目標5－個別目標①「多様な主体の連携による環境学習の推進」

区民・事業者をはじめ、地域団体やNPO、他自治体等の多様な主体と連携・協力しながら、効果的に環境学習を推進していく必要があります。

G 基本目標5－個別目標②「次代を担う子どもたちへの環境教育の推進」

2050年の長期目標に向けて、長期的・継続的な取組が必要となることから、次代を担う子どもたちへの環境教育をより一層推進していく必要があります。